

成人向け
FOR ADULT

あやかし狐



夜の勉強会
FOR ADULT ONLY



妾の寝顔を鑑賞とはあまり
良い趣味とは言えんのう
摩地蔵：



おや？
お早いお目覚めですな



それに早いといっても
もう夕方だ

キヒヒヒッ 羽衣狐様
昨晚は朝方まで
お楽しみでしたからなあ



この小娘中々大した者だぞ
もう三日も寝に攻められて
まだ正気を保っておる

これだけ妖気を浴びれば
普通の人間など一日も
持たぬのにな

其れほどまでにこの陰陽師を
気に入りましたか



生きていれば…だがな

かなり良い素質を持つておる
数年も修行をすれば我等の
脅威になっているかもしれん

所で夕食まで時間がまだございますが
それまで如何なされますか？

フエフエフエ
羽衣狐様もお人が悪い

そうじゃな妾は少し小娘と
戯れていくかのう
こやつを仕込むのは中々楽しくてな

殺さずこのまま飼って
やるのも面白いかもしれん

フエフエフエ陰陽師をですか？
それは興深こうございますな

それでは先に行つて
おりますゆえ
ごゆるりと……



ほう…

なんやさつきから開いとつたら
好き放題言よつて
私はお前の玩具やないでつ
アホ狐ツ



あつ

あたりまえやつ
私は花園院流陰陽術の
跡継ぎになる女やつ

お、お前みたいな
妖怪には負けへんつ



昨晚あれだけ責めたのに
まだそれだけの口が
きけるのか

その精神力は見上げたものだな

お主は達者じゃが
昨日など最後は泣き叫んで
いたではないか？

う、うるさいこの妖怪狐っ
こんな弄んでいられるのも
今のうちやっ
お前は必ず私が滅して…

ズ
ツ

や…ひっ

ほ…細いの
がなかにいっ

ふふふ 妾に対して
その物言い
恐ろしいのう

では滅せられるより
先にお主を喰すとしよう

やめえっ

ひ…あああ
奥にとどいてえっ

どうした小娘？

強気なのは言葉だけか？
身体の方はすいぶん
弱気じやの

な…なんやこれ…
こんな細い触手やのに
一擦りごとに
お腹の奥に響く…っ

なんでやっ
なんや…これえっ
普通やないっ

いやっ

あうっ

陰陽師である
お主を三日かけて
妖気にならしたのだ

その身体ならそれ位
十分耐えられるだろ

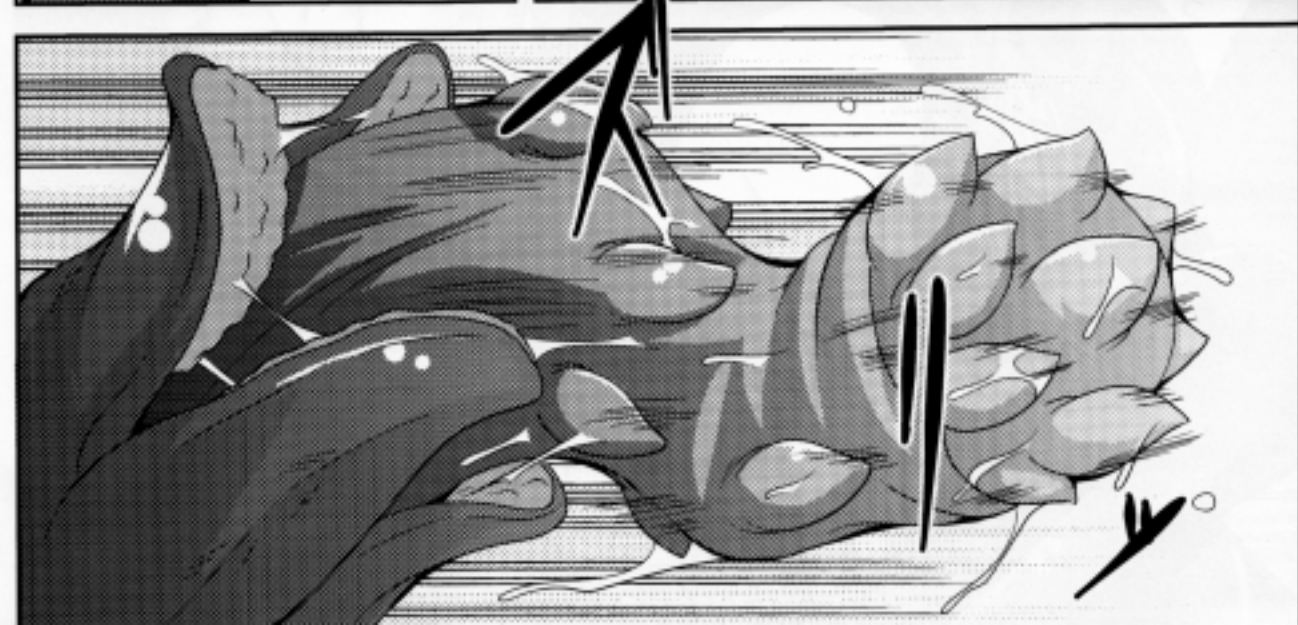
どうしたそんなに気持ちよいか？
それには何時もより濃く夜の妖気を
纏わせておるからのう
普通の人間なら正気をなど
保っておれんが

た…多少慣れたかて
こんなん…無理やあつ
こんな濃い妖気
す…すぐにイッてまうっ

イッてまうっ

無理や…あ
我慢できへんっ

いくっ





今日はそれに
先の触手の倍ほど妖気を
込めておる



目隠しで見えんと思うが
昨日と同じヤツだ
昨晩はコレで何度達し
何度失神したかの



ひっ

そ…そんな
無理やあ…っ



う…嘘やっ



妾の妖気に耐性が付いた
といえコレはかなり
来るかもしれんな





あ…が…っ

ヒギョウッ

ガッ

ガッ

ガッ



あああああっ

あああああっ

ドゴッ

ドゴッ

ドゴッ

ゴッ

ゴッ




こんなんむりやああっ
おかしくなるううっ

むりやあっ
むり…むり…


フリッ

フリッ


フリッ



き…気持ち良い…とか言う…
れ…レベルや…ない
っ…突き上げられる…たびに
真っ白に…なってる…




意識が…飛びそうになる
頭の中が…やけ…てまう
こんな…普通やないっ



あぎごうっ

コレに…比べたら
昨日までのなんて…
あ…遊び…やあ



無理や…あ…こん…なん…むりいっ
こんな…人に…耐えられるわけ
ない…いっ





いったまま
おられへんようっ

たすけてえ…
しぬうっ しんじやう

よ…妖気が強すぎて
気絶する…ことも…
できひんっ
身体の…隅々まで…

妖気が流れ込んで…くるう…
いやや…いや…やあつ
こ…このままじゃ…わた…し
わ…私…しぬ…か
人や…なくなつてまううっ



ゆる…してえ
ゆる…し…

いや…いや…や
……たすけ…



ふむ…こころが限界か
妖気が少し強すぎた
かもしれんな

これだけ妾の妖気を耐えたのだ
むしろ人間にしては良くもったと
褒めるべきか

まあ良い
そろそろ夕食の時間じゃ

